



“私たちは、憲法前文・九条を選び取ってきた”

— 九条の会講演会に参加して —

まだ暑さの残る 9 月 29 日日比谷公会堂で開かれた九条の会講演会「三木陸子さんの志を受け継いで—今、民主主義が試されるとき」に参加した。駅を出ると装甲車が止まっていて、緊迫感が伝わってきた。全国から参加者 1800 人。オープニングは、佐藤真子さんの清んだ歌声から。呼びかけ人・作家の大江健三郎さんは、三木陸子さんが「国民が平和で静かに暮らせるなら、大国でなくても良いのではないか」と言っていたことを紹介し「この国は民主主義の国だろうか？」と問いかけた。即時ではないが、2030 年に原発稼働ゼロを言わせたのは、民衆の力。日本経団連会長が「承服しかねる」と発言し閣議決定を見送った政府を批判。「憲法を守ることは、民主主義を守ること」とのべました。

憲法研究者の奥平康弘さんは、自民党や日本維新の会が、改憲手続きを定めた憲法 9 6 条の改定を正面に掲げ 9 条の改定を狙っている。私たちは、多くの犠牲のもとに戦後、憲法前文、九条を選び取ってきた。「9 条の会が立ち上がった時の魂が問われている」と強調。

作家の澤地久枝さんは、95 歳の誕生日に亡くなった三木陸子さんと新宿歩行者天国で PKO 派遣反対の演説をやったことなどエピソードを交えて紹介。「私たちひとり一人が未来をどうするか選択する場所に立っている」と呼びかけました。

俳人、詩人、歌人の九条の会の皆さんの朗読の後、最後に小森陽一事務局長は、2004 年 6 月九条の会アピールを発表してから 8 年、全国 7500 を超える九条の会ができています。「憲法の理念を学び、広げる草の根の運動を、60 年安保闘争を上回る規模で取り組みましょう」と訴えた。改憲の動きがすすむ中で、九条の重みを改めて痛感した日でした。(代田 5 丁目 小澤 清子)



講演会で紹介された 俳句・短歌の一部

- 戦争が孵化して来そうな教科書閉ず
やませの田九条ポスター立てつぺえ
大内 秀夫 万葉(かずは) 太郎
- 何のための戦争だったか 戦争せぬ国になった そのためだった
橋本 喜典
- 憲法 9 条を足蹴にするはそれとして君ら地雷の上を歩いてゆけるか
碓田 のぼる
- ヒロシマにナガサキ六十七年前「水ヲクダサイ」今福島炉心
田村 広志
- 万葉の世はつい昨日プルトニウムの半減期二万四千年先
下村 すみよ
- 祈るように憲法九条を思う 戦死・被爆死の血縁ありて
岸 志乃

おしらせ：代田・九条の会 4周年のつどい

お話：「私たちは幸せになるために生まれて来た」

話す人：朴 慶南 (パク・キョンナム) さん

三線 (さんしん) の演奏：渋谷がじゅまる のみなさん

今年は 4 周年になります。国会で憲法審査会が審議を始め、自民党では改憲を
広言する安倍・石破体制ができました。憲法 9 条を変えようという動きが強まっ
ています。「戦争をしない国、日本」をしっかりと守って、日本国憲法第九条を
次の世代に無傷で手渡すために、ご一緒に考えていこうではありませんか。

ぜひご参加ください。

と き：2012 年 11 月 3 日 (土・文化の日) 午後 1 時 30 分～4 時

と ころ：東京都民教会 (代田 5-35-2) 電話：03-3412-3952

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第 9 条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～



作家、エッセイスト。1950 年鳥取県生。在日コリアン 2 世。命の大切さ、人間としての尊厳を軸に、人と人をつなぐ出会いを執筆、広く講演活動を行っている。

世田谷革新懇「秋の学習講座」

ファシズムの足音の高まりを止めるために —「平和的福祉国家を作ろう」—

すっかり秋めいた10月10日(水)の夜、宮坂区民センターで開かれた講座に参加した。世田谷革新懇の主催で、立正大学教授・金子 勝さんが話をされた。参加者は44名でした。

先生は、大部のレジュメと資料を準備され、それに沿って話をされた。「日本の支配層が動き始めた。その一つとして橋下状況をとらえることが必要」と最初に指摘された。アメリカと日本の大企業を中心とする支配層は「日本の国民全体を敵にする」政策を実現しようとしている。具体的には、消費税増税、社会保障の切り捨て、TPP参加、改憲に加えて最終的には「米中戦争」すらも。このためには、従来の二大政党体制でも足りなくて「保守総掛り」政治への転換が行われ始めており(三党合意など)、その到達点は『「安保」ファシズム』であるとされた。特徴として、強大な軍事・警察・官僚機構を柱とする中央行政権力型統治機構を持つことなど、7つ指摘された。この全体的な動きの中で、「ファシズム」を志向している橋下 徹氏を利用して、お金を与え(企業献金などの形)、新しいファシズム政党(=日本維新の会)を作らせ、大マス・メディアを巻き込み、保守政党を再編成し、「総保守独裁内閣」の実現を目指そうとしている。

「選挙で勝ったのだから白紙委任を受けている」との論理で、大阪府・市で橋下が行っていることを詳しく配布のレジュメでは分析され「読んでください」とのこと(読んでみるとよく理解できます。手持ちがありますので必要な方はおっしゃってください)。この「白紙委任」論についても、詳しく反論され、国民主権の立場からよく理解できた。

これと闘うためには、対案の提示が必要として、非武装・非戦争平和主義の憲法第9条を足場とした「平和的福祉国家」を作ろう、という声を大きく上げるべきであると強調。革新懇だけでなく、九条の会の運動もこの視点に立ってもっと運動を強化しなければならないし、政府に向かっても、国民に向かってももっともっとアピールすべき、とハッパをかけました。

(代田2丁目・伊東 宏)



集会等の紹介

10月27日(土) 午前10時～12時半

資料代：300円

原発学習会 —私たちの生活と原子力—

講師 坂本 功 氏 (さよなら原発! 世田谷の会・代表)

竹内 逸郎 氏 (元・原子力施設設計エンジニア) DVD上映も

会場：東京ロシア語学院 2階ホール (世田谷区経堂1-11-2・小田急線経堂駅下車 徒歩5分)

主催：日本ユーラシア協会(連絡先：Tel 03-3429-8231) / さよなら原発! 世田谷の会

11月7日～18日 午後1時半～または午後6時半～

劇団俳優座公演 「いのちの渚」

作：吉原 公一郎

会場：俳優座劇場 (六本木) 料金 A席：5250円、B席：4200円

連絡先：劇団俳優座 Tel03-3405-4743

11月10日(土) 午後1時～4時

資料代：500円

九条科学者の会講演会 —日本の政治はどこへ向かうか

アメリカ大統領選後の世界と日本 —

講師 浅井基文 氏 (元外交官 / 広島平和研究所元所長)

会場：明治大学駿河台キャンパス リバティタワー10階1105番教室

主催：「九条の会」のアピールを広げる科学者・研究者の会 (九条科学者の会)

連絡先：事務局 Tel・Fax 03-3811-8320

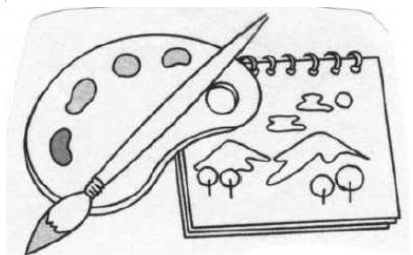
日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。

国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。



お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。